

派遣業における通路を起因物とする死傷災害発生事例（2017年）

2017年 発生 月	時間	死傷災害発生事例	年 齢	労働 者規 模
1	12～ 13	雪かきをしていた派遣先の店長を外に呼びに行った際に転倒し、右ひじを強打した。その際にパニック発作を起こし、緊急搬送され、肘にヒビが入っていることが分かった。	27	100～ 299
1	14～ 15	被災者（以下「甲」という）は当センターにおいて医療品の仕分け、たたみ作業に従事。甲は、作業場の通路を同僚と並び歩行中に、甲が同僚の前に出ようと追いつき越そうとした際、同僚の右足に甲の左足が引っ掛かり、前方へ転倒し、床に右大腿部を打ちつけ受傷した。	58	500～ 999
1	9～ 10	デイサービスセンター浴室にて（ユニットバス）洗髪を終え、浴槽に誘導した後の洗い場床をシャワーで清掃中、履いていたスリッパ（底面は滑りやすい状態）が洗剤で滑り、後ろ側に転びそうになり、洗面台前に置いてあったイスの脚部分に左足小指を蹴り上げるようにぶつけ負傷した。	39	—
1	22～ 23	派遣先にて就業を終え、同じ敷地内にある寮へ帰る途中、周辺が暗かったためつまずき、足を捻り転倒してしまった。	26	1～9
1	17～ 18	玄関にて、雨で床が濡れており、足を滑らせ扉に頭を強打し転倒した。その際、転倒を防ごうと手をついたが、つき方が悪く、負傷した。	25	1～9
1	22～ 23	休憩中、外の喫煙室から食事を取るために食堂へ移動していた際に、通路に置いてあった箱に気付かず躓き、四つん這いになるように前のめりに倒れ、その際に右手の中指を床にぶつけた。	40	30～ 49
1	3～4	就労中、休憩時間となり、工場敷地内の薄暗い通路を歩行していたところ、通路横に置いてあった台車（長さ約3m）に誤って足を引っ掛けてしまい前方に転倒した。その際、右頭部・右頬・右膝・左太もも・脛脛を負傷した。	34	10～ 29

1	9~ 10	就業場所の敷地内駐車場にて、通勤車両から降車した時に足元の凍結に気付かず、滑って転倒し、右橈骨遠位端骨折となってしまった。	53	30~ 49
1	15~ 16	派遣就業先である倉庫内にて、商品のピッキング作業を行っていた際、リストを見ながら作業をしていたため誤って商品に躓き転倒し、右膝を強打し、右膝内側半月板・側副靭帯不全損傷、節骨内側骨挫傷、関節水腫を負った。	52	300 ~ 499
1	7~8	出勤時、就業場所の屋上駐車場に車を停めて徒歩で坂道を下り職場へ向かっていた際、雨で足を滑らせ転倒し、腰部と左肩を強打し受傷した。	59	100 ~ 299
2	21~22	野菜人参原料の皮むき機で作業終了後、機械の移動中機械を持っていた左手が外れてしまい尻餅をつく形となり、その際にとっさに手をついてしまった事により強打し打撲となった。	50	300 ~ 499
2	15~16	ビニールが水で滑り転倒、を踏んでしまい、ビニールが水で滑り転倒、尾?骨を床に強打した。	26	100 ~ 299
2	11~12	ビル工事現場内において、トラックが場外へ出ようとした際、トラック運転手が後方確認を行わずにバックをして出ようとした為、安全確認のため咄嗟に後方に回ろうとした際、ゲート下部のワイヤーに足を引っ掛け転倒し、被災した。	67	1000 ~ 9999
2	11~12	派遣先事業所にて、工場内ライン作業中に荷物を積んだ台車を避けながら隣のラインへ移動をしようとした際に、床に油カスが落ちており、足を滑らせ、転倒し右手首から地面についたために骨折をした。	51	—
2	19~20	勤務終了後、派遣先敷地内駐車場に停めてある自家用車に向かおうと玄関出入口から駐車場に続くなだらかな傾斜のある通路を歩いていた際、暗くて足元が見えなかった為通路端10cm程高くなった部分に足を引っ掛け、通路端から50cm程段差のある駐車場側に自重が掛かるように右腕から落ちた。通路を照らす照明は玄関出入口にあるが、事故当時は消灯していた為足元が見えなかった。	43	100 ~ 299
2	9~10	事業場のプレス工場で、2人1組での作業中、建材の上のビニールをはがし、ビニールを左手に持ったまま建材を運び、建材を置いた後に、歩行している最中に	44	1~9

		左手に持ったままであったビニールを自ら踏んで後ろに転倒して、左肘と左手を地面に強打してしまった。		
2	10~11	当月就業中、転んだ時の腰痛が次第に悪化した。入浴介助、移乗を毎日行っており、翌々月の起床時から腰の痛みがひどくなり、出勤していたがその後も痛みが続く為通院した。入浴介助業務は、1日6名前後1人で約20分程で基本的には1人で行うが腰痛があったため2人で行うように対応した。移乗業務は、約40~55kg程の方をベッドから車椅子に移乗し中腰で抱きかかえ風呂に入れる。	49	100 ~ 299
2	18~19	被災者は1時間の残業の後、通勤車両を置いてある東2駐車場に向かい歩行中、水路にかかっている橋上で、小動物が足元を通過した際に驚いた為、水路脇のコンクリートに1.2メートルの高さから落下し負傷した。	36	1~9
2	10~11	派遣先の調理場にて作業中、お弁当用保温容器を取りに行き戻る際、つい小走りになり、濡れていた排水路の蓋の上で足を滑らせ転倒した。腰に痛みはあったが、そのまま作業を行った。	44	50~ 99
2	21~22	出張中、懇親会終了後、車に乗り合わせてホテルに戻るために、懇親会会場の駐車場に徒歩で移動中、側溝で足を踏み外し転倒し、左腕を強く打った。	35	10~ 29
2	13~14	第三工場おにぎり包装3部署おにぎり包装1号機にて検品中、フィルムの柄ずれが発生したので修正の為操作盤まで移動の際、床に落ちていた海苔を踏み転倒し、右手首を負傷した。	48	100 ~ 299
3	17~18	作業終了後、現場事務所から別事務所にタイムカードを押しに向かう際、現場事務所近くの側溝のグレーチングが100mm~150mm開いている所で左足をとられ転倒した。	60	100 ~ 299
3	0~1	バット（容器）を冷凍庫に運んでいるときに足を滑らせて転倒し被災した。	55	10~ 29
3	3~4	工場内のチルド室でパックのご飯ならし作業中に手に、汗をかいたので手袋を取り替えに行く途中、床が油っぽく滑ってしまい、手をついたときに右手首を怪我した。	53	30~ 49
		野菜処理室で、野菜を倉庫から野菜洗浄室に運んでいた際、清掃のため排水溝の		100

3	18~19	蓋が取り除かれていたのに気付かず、右足が排水溝に落ち、体のバランスを崩し右膝を捻挫した。	51	~ 299
3	12~13	作業場の廊下を歩いていた際、床のゴムマットに摩擦で足が引っかかり転倒しそうになった。とっさに転倒しないように壁に手をつけて身体を支えようとしたが、勢いが強かったためそのまま左肩を脱臼した。	43	30~ 49
3	12~13	スタッフとランチ面談のため目的地に向かう途中、左足を外側に捻った。	45	100 ~ 299
3	8~9	派遣先に出社後、朝のラジオ体操に参加しようと場所を移動していたところ、通り道であるフォークリフト置き場（コンクリート）の穴に気がつかず、左足が穴にはまってしまい、左足のくるぶしを負傷した。	53	300 ~ 499
3	14~15	構内を移動中、12号館入り口を歩行したところドアストッパーの金具に躓き転倒し、左膝を打った。	43	1~9
3	21~22	宴会場入口にて会場内に入ろうとした際、入口前の床が少し濡れており、滑って転倒し、床で左手を強打したため、左手小指を負傷した。	36	50~ 99
3	13~14	豚の内蔵生冷室にて、内蔵入りの荷物を運び入れた際に滑って転倒し、後頭部を打った。	51	300 ~ 499
4	21~ 22	派遣先の工場内T3ライン盛付室内のトレー洗浄機付近において、使用済みの調理加工具材入れ用番重の洗浄作業中に移動時に足を滑らせて転倒し、尻もちと同時に左手を着き負傷した。ホースで番重を水洗いする作業のため床が濡れていて、力を入れた際に転倒した。（防水滑り止め長ぐつ使用、すり減りなし）	68	30~ 49
4	3~4	納品先店舗へ商品が入ったカゴ台車を運搬する際に、トラックのゲートを降ろし、カゴ台車を押し始めた時に台車のタイヤ部分が地面の窪みに引っ掛かりバランスを崩した。慌てて手で支えたが重さがあるのでそのまま台車は倒れ、左手首の筋を痛める。	48	10~ 29
		倉庫内（A棟）にて次の箱にかんばんを挿しに移動する際、足元にあったPPバン		

4	13～ 14	ドを跨ごうとした。その際、他の作業者がそのPPバンドを製品に固縛するため引っ張ったところ、跨ごうとした本人の右足に引っ掛かり右前方に転倒し、右膝から落ちて右膝蓋骨を骨折した。	55	1～9
4	12～ 13	A棟にてパレット上に空箱を集め、荷崩れ防止の為のラップを巻いている最中に本人が置いた空箱につまづき転倒し、膝から落ちた。	47	30～ 49
4	10～ 11	アイスクリームの製造工場において、積み重なっているダンボールを取り出してフタを開け、凍った生クリームをとりだそうとしたところ、左足を滑らせ倒れ込み、ダンボールの角に左脇腹を強く打ちつけ、第九胸椎圧迫骨折した。	65	50～ 99
4	7～8	徒歩で工場敷地内の横断歩道を走って渡った後に、通常歩行したら躓いて右ひざを地面にぶつけ負傷した。	22	100 ～ 299
5	15～ 16	会社の敷地内にて社用車に道具を積み込んでいる最中、躓きバランスを崩し転倒し、左手が右に当たり左手の甲を捻挫および打撲した。	43	100 ～ 299
5	8～9	出勤時、当院敷地内の駐輪場にて路面の段差に躓き転倒し、左前腕部と右膝を路面に強打した。	26	1000 ～ 9999
5	11～ 12	派遣先において、機械に原料の投入作業中、原料の入った袋（重さ約12kg）を持ち上げたところ、床面が油で滑りやすかった為、バランスを崩して転倒した際、左側に捻った格好となり、左手首と左大腿骨を骨折した。	69	50～ 99
5	15～ 16	休憩時間になり休憩室へ向かう途中の通路にて、濡れた床に足を滑らせて転倒した。後ろに倒れ込むような形になり、頭をかばうため手をついた際に右手首を骨折した。	55	300 ～ 499
5	10～ 11	昼食を食べに食堂へ移動する時に雨が降っていて通路の水たまりで滑って右足の膝を捻ってしまった。	46	100 ～ 299
	15～	フォークリフトでポリ箱に入った材料を運搬後、空のポリ箱を運ぶためPPバンド		100

5	16	で固定し、余った部分を切ろうとハサミを持ちに行った時、空箱より垂れた床の油で滑り、左膝を捻って転倒した。	32	～ 299
5	2～3	リーチ駐車場所にて定位置にリーチを停止させ降車する際、不用意に着地したため左足外側から着地する形となりバランスを崩し、壁際に設置された留め具とリーチ運転台下の間に足が入り、左足に荷重がかかり足の骨にひびが入った。	39	30～ 49
5	8～9	就業場所において、作業場へ向かうため、他の従業員と通路を歩いていたところ、前方から別の従業員がハンドリフトでパレットを運んできた。通路を譲るために通路の外（作業エリア）に避けようと目視確認を行わずに、右斜め後方に後退したところ所定の場所に置いてあった他のパレット（横110cm×縦110cm×高さ15cm）に気付かず、右足を引っ掛け転倒した。その際、身体を支えようと咄嗟に右手を出したが、パレット上に強く打ちつけて負傷した。本人の判断でしばらく様子を見ていたが、痛みが引かなかった。	45	1000 ～ 9999
5	11～ 12	作業終了後、材料が残った為、その材料を二次加工の冷蔵庫に戻そうとして二次加工に行き、そのあと自分の部署に戻る時、足元に台車があるのに気付かず台車に躓き、顔面から転倒してしまい、歯2本（前歯）を折り、床に手をついた際に左手首も打ってしまった。	66	100 ～ 299
5	2～3	1Fフライヤー開梱室で平台車を右手で1台持ち部屋を出ようとしたところ、部屋出入口の手前で滑り右横向きに転倒し、咄嗟に右手で受け身をとったところ負傷した。	65	30～ 49
6	9～ 10	就業先パントリー内にて準備作業中、清掃者がいたが、モップ掛けをしているのを知らず、その濡れた床で足を滑らせ転倒した。制服がビチャビチャになる程であり、左腰、左首、左足を負傷した。	49	1000 ～ 9999
6	9～ 10	派遣先において、冷凍資材庫へ具材を取りに行った際に、資材が多く、通路が狭くなっていたため、床面に置いてあった物を避けようとしたところ、バランスを崩し転倒した。その際に、持って来ていた台車のタイヤに背中を打ちつけてしまい、左肋骨を骨折した。	28	50～ 99
6	13～ 14	踏み台の上での作業が終わり、降りる時に左足首を内側に捻り、左側へ倒れた。足首が腫れ、靭帯を損傷した。	35	50～ 99

6	9~ 10	開店前作業中、売場で足が滑り転倒し、手をついた時に手首を捻ってしまった。 床濡れ等ではなく、急いでいて、靴底がすり減っていた為、曲がり角で転倒して しまった。	65	300 ~ 499
6	8~9	朝食後入居者様を居室へ誘導した後、ナースコールに対応するため部屋を出よう と、咄嗟に左方向へ体の向きを変えた時、右足の膝折れが起き激痛を覚えた が、1~2分じっとして、その後歩く事が出来たので、痛みはあったが右膝をかば いながら、なんとか1日過ごした。翌々日朝から、立つこともしゃがむことも激 痛で困難になった。	56	50~ 99
6	9~ 10	肉下処理室冷蔵庫にスライスされた肉が入ったバットを運び入れ、振り返った際 に転倒し、臀部を床に打ち付けた。（床は濡れていて滑りやすい状態だった）	56	300 ~ 499
6	22~ 23	仕分け商品の積込準備作業中、搬出口付近の床面が寒暖差による湿気で濡れてお り、足を滑らせて転倒した際、左手首をつき骨折してしまった。	49	50~ 99
7	10~11	就業先の選課場内にてトマトのサイズごとの選別、箱詰め作業を行っているとき、 人がすれ違える程度の幅での作業場にて、働いている人員や機械が多く常に まわりに注意を払いながら作業をする状態となる。自分の持ち場の業務が一段落 し他の場所を手伝いに向かおうと振り向き出そうとしたと同時に、作業していた 先方も方向転換したところ、その足に躓き前のめりに倒れる。右ひざから地面に 付き、その後左手が地面に付いた模様。	67	50~ 99
7	11~12	フライドポテトを加工する作業場内で、液体塩素を入れたバケツを右手で持ち歩 いて移動中、床にボルト（止め具）が出てることに気が付かず、躓いて転倒。左 膝から倒れこみ右側肋骨と右顔面頬を強打し、検査の結果、左膝蓋骨骨折と診断 された。	58	300 ~ 499
7	13~14	ビジネスホテルの客室整備中にてユニットバス清掃後、床面にあったタオル類に 足が乗ってしまい足元が滑った。その時に転倒し、右足外側のくるぶしを打っ た。その後、作業して帰宅したが、翌日、痛みが引かなかった。	44	100 ~ 299
		側溝の作業中に別の側溝に移動する際、段差につまずいて転倒し、左手を突き負		30~

7	11~12	傷した。清掃担当のため、屋外にある側溝を清掃作業していた時に発生したものの。	64	49
7	11~12	外出のため、事務所を出た時、雨のため濡れていた玄関ポーチで足を滑らせて転倒した。その際左足首を骨折した。原因雨のため滑りやすくなっていた事に気付かず、小走りに不用意に歩いたため。	50	30~ 49
7	15~16	作業開始前の準備中、洗浄機後ろに敷いてあるステンレスのスノコに足を取られ転倒、その際に準備していたラック及び台車に左脇腹を強打し肋骨を折ってしまった。	57	10~ 29
7	16~17	通常の就業場所の冷蔵室にて、スープの入った寸胴鍋（重さ20~30kg）を移動させようと二人で持ち上げたところ、被災労働者の腰から背中にかけて激痛が走り、その場で崩れるように倒れてしまった。	50	~ 9999
7	1~2	スーパーマーケットで勤務中、逃走万引き犯人を走って追いかけていた時、駐車場入り口の車止めに足が引っかかってしまい、転倒してしまい右腕上腕を骨折した。	59	100 ~ 299
7	15~16	派遣先において、サンダーを使用して半導体（円形の銅板、重さ約20kg）の研磨作業終了後、後ろの台に置こうとしたところ、作業台の下から伸びているサンダーのコードに足を引っ掛け転倒した際、銅板を両手で持っていたため、床面と銅板の間に左手中指が挟まれ負傷、また転倒の際右腕も負傷した。	25	10~ 29
7	16~17	洗浄室へ応援のため、移動中。足がもつれつまずき、前のめりに転倒し、左膝を床面にぶつけた。特に床面に段差があるわけでもなく、濡れていたり、粉等の落下物もなく、不安全な要素はなく、ただ通路を歩いていた状況だった。	56	100 ~ 299
7	6~7	チルド加工室から退出する際に、液こぼれを他の従業員が清掃作業し、終了した場所を通行したところ、足を滑らせ転倒してしまった。その際に手をついて右手首をフロアーに打ち付けてしまった。	47	50~ 99
7	18~19	工業に接岸の内航船にてコイルの揚荷作業が終了したか確認後内航船と岸壁高さ約1.5mのところから飛び降りた際に右足ふくらはぎを負傷した。	54	50~ 99
		アイスクリーム製造、バイターラインB2カートナー業務に従事中、充填機とカー		100

7	11~12	トナー間のフィルム接続部の警報サイレンが鳴り、確認・復旧のため、急ぎ足で角を右に曲がり接続部に移動しようとした際バランスを崩し、左足に体重がかかり左足を捻った状態で転じ、骨折した。	43	~ 299
7	16~17	工場内にて、原料の砂10~15kgの入ったプラスチック製の箱を作業場から処分場所までの約15mの距離を運ぶ際に、床に散乱していた砂で足を滑らせ前のめりに転倒した。起き上がろうとした時に腰から左足にかけて痛みを覚えたが、その後、通常通り勤務を継続した。後日、痛みが激しくなり、左坐骨神経痛と診断された。	37	~ 299
7	8~9	派遣先事業所（病院）にて作業中、通路で保護シートに足が引っかかり転倒した。	55	50~ 99
7	19~ 20	就業先の機械チーム内にて、管理板を片付ける際、本来は通行禁止である単発機と単発機の間を通り抜けたときに、足元のエアホースか何かの管に足を引っ掛け転倒し、左腕と右膝を強打し負傷した。	59	100 ~ 299
7	10~ 11	個人宅にて引越しの荷物の搬出作業中、ダンボールを二つ重ねて（重さ合計8~10kg）運んでいたところ、抱えたダンボールで視界が悪かったため、エントランス部分の段差（14~15cm）に気づかず躓いてしまい負傷した。	42	50~ 99
7	9~ 10	派遣作業員として、成形機械のオペレーションおよびバリ取り作業などに従事していたとき、床に高低差のある配管カバー上で、誤って滑り、転倒してしまい、左腕を床に打ちつけた。	40	300 ~ 499
7	16~ 17	派遣先にて、シャンプーの充填作業に従事中、その日の作業を終えて作業場周辺の清掃で、タンクから充填作業場までシャンプーを送るためのホース（直径約7cm、高さ約50cm）を跨いだとき、床に這わせてあった同様のホースに躓いて転倒した。転倒の際、全身をコンクリート製の床面で強く打って受傷した。	60	100 ~ 299
7	8~9	派遣先にて、和菓子の検品・梱包・箱詰め作業に従事中、製品を入れる段ボール箱（約70cm×40cm）を持って箱詰めの工程へ移動する際、足元が死角になるため、運搬用パレットに気付かず右足を躓いた。転倒しないように左足で踏ん張ったとき、左足を捻って受傷した。	54	100 ~ 299

9	9～ 10	派遣先の請負先である総合病院で就労中、歩いていたところ躓いて転倒し左肘を強打した。（障害物はなかった）	69	100 ～ 299
9	15～ 16	当社派遣先B棟プレス機投入口西側に於いてドライワイパー（床用水切り）を使用して、紐切り済みの新聞をプレス機コンベアに押し込む作業を行っていた。その作業中、左足が紙の上で滑り、左足をひねり尻餅をついて転倒し左足首上部骨折（腓骨の外果付近の骨折とのこと）と診断された。	66	100 ～ 299
9	8～9	朝礼の場所から自分の作業場へ移動する際に、左足首を捻った。	40	100 ～ 299
9	9～ 10	肘付き椅子を利用し、収納庫の上に上り、壁に設けてある、月、日、曜日の札をその日の分に取り替え作業で、取り替えを終え、収納庫の上から後向きで降りようと、右足を椅子にかけたが、かけそこねて転落、右背中を椅子の肘で強打し骨折した。	47	100 ～ 299
9	0～1	自身の現場へ向かう歩行中、構内通路の油の拭き残しで右足を滑らせ転倒。転倒時、通路脇に置いてあったパンフレットにぶつかり、左膝を床面に打ち受傷した。	62	500 ～ 999
9	4～5	労働者派遣先である工場4F北ラインにて、現場の備品を移動させる作業を行っていたところ、床が濡れていたりゲル化剤の粉が残存して滑りやすくなっており転倒、後頭部を強打した。	42	100 ～ 299
9	14～ 15	特別養護老人ホームの入居者とのレクリエーションを見守っていた時、入居者が使用していた風船がフロアに転がったので、それを拾おうとしたところ、入居者の車イスに足を引っかけてしまい、そのまま転倒し、膝を強打した。	53	50～ 99
10	18～ 19	工場において、業務終了前に敷地内のゴミ置き場へビニールゴミを置きに行った際、大雨が降っていて足元を滑らせてしまった。この時、ゴミ置き場のフェンスに胸を強くぶつけて打った。土曜日の夕方の出来事で病院へ行けず、また、痛みはあったがただの打ち身だと思い我慢していた。翌々日の朝も我慢して出勤したが、業務に支障をきたす痛さだった。	43	50～ 99

10	11～ 12	エアコンコーナー付近売場通路にて、就業開始直後歩行中の方向転換の際、台風による大雨の影響で濡れて滑りやすくなった床、または自分の濡れた靴で足を滑らせ転倒し、顔面と左手、右膝を床に打ち負傷してしまった。	52	30～ 49
10	17～ 18	派遣先にて産業廃棄物を処理中、散乱している廃プラスチックを整理していた時、廃プラスチックに足を取られ後ろ向きに転倒し負傷してしまった。	54	50～ 99
10	16～ 17	当日の就業場所である飲食店で接客サービス業務に従事中、濡れたタイル面に足が滑り転倒負傷した。	22	100 ～ 299
10	14～ 15	チルド倉庫内にて、ピッキング作業中、足を滑らせ後方に転倒。商品を持っていた為、右手のみ床につき、右手首を骨折。	50	10～ 29
10	15～ 16	事務所内でコピーをした時、足元に通常は無いビニールが置いてあり、その上に乗ってしまい、しりもちをついた時、両手で支えようとして床についた右手と左手を商品の上についた。滑った時に足首と膝を捻った。	51	100 ～ 299
10	17～ 18	作業中、ダンボール箱（空）2個を両手で持って移動中、クールボックス用の配線に足を引っ掛け転倒。床に膝を打ち損傷。	70	300 ～ 499
10	15～ 16	製品を取りに行く際、通路で台に躓き、右手前の台に左脇腹を打ち受傷。	54	300 ～ 499
10	8～9	派遣先の物流倉庫で、朝礼を行う場所へ集まる途中に、床にあったエアホースに足を引っ掛け左手をついた。その後、2時間程作業を続けたが、左肘に痛みがあった。病院では、過去に左肘に骨折の跡があり、その箇所が痛んでおり、左肘関節捻挫と診断された。	46	10～ 29
10	9～ 10	派遣先にて、ゆで卵の製造作業に従事中、塩水に浸けたゆで卵のパレットが浮かないようにするための重り（約10kg）を持って冷蔵室に入った時、冷蔵室の床が塩水で濡れていることに気付かず、左足を滑らせ転倒。転倒の際、左足首を痛めたもの。	35	100 ～ 299

10	7~8	GPセンター（卵のパッキングセンター）内で、始業前準備を高さ30cm程の検品作業台の上で行っていた。そこから床に降りる際に、5cm程の溝へ右足を取られて転倒し、右足首をくじき、くるぶしを骨折した。	52	1~9
10	17~18	工場内に於いて、バイターライン（スティック型アイスキャンディーを製造する機械）の稼働準備のため、バケツ（殺菌用に塩素水が入っている）を準備しようとバイターラインと窒素トンネル（砕いたチョコレートを低温で冷やし、固める機械）間の通路（幅約1m）を移動していた際、窒素トンネルの冷気がいつもより強く床面が凍結していたため、滑って後方に転倒し右手をついた瞬間右手首を骨折した。	68	30~49
10	8~9	第2工場の牛すきラインで肉の選別作業を行い、選別した肉の入ったケースを両手で抱えて所定の場所へ移動していた。業務用スポットクーラーの配線が床に這っていることに気付かず、足が配線に引っ掛かり両手にケースを持ったまま左膝から転倒したため膝を強打した。	46	500~999
10	16~17	惣菜課のベルトコンベアー付近を、ゴム製の長靴を着用し歩いて移動していたところ、床に少量の出汁がこぼれていたことに気づかずその箇所を踏んでしまったため、足が滑って転倒し右手を床につき負傷した。帰宅後に痛みが増大したが、骨が折れているとは思わず、痛みが引くのを待ち様子を見ていたが、一向に痛みが治まらず耐えられなくなった。	59	100~299
11	13~14	派遣先にて冷凍庫に保存してある油揚げを取りに行った際、足を滑らせて転倒した。転倒した際に頭部、右腕肘部分を負傷した。痛みがあったが出勤した。その後、病院へ受診し、右腕XP撮影の結果、骨に異常はなく、後日改めて受診することとなった。	49	100~299
11	12~13	被災者が利用者様を脱衣所から浴室へ誘導する際に、その利用者様から、ホールから脱衣所に通じる出入口のドアを閉めるよう依頼された為、素足で出入口に向かったところ、出入口の手前のコンクリート床で転倒した。その時、体右側から床に転倒した。	50	10~29
		玄関すぐ右脇の管理室入口のドアを抜けてすぐのところ、玄関でスリッパに履き替えて管理室に入室した時、右足が前に滑り、右手・右肩から床に転倒した。ス		500

11	8～9	リッパ底の劣化摩耗により滑り止めの効果が損なわれていた。転倒時の衝撃により、右上腕部を骨折した。	83	～ 999
11	11～ 12	肥料包装業務の現場で、肥料包装用のダンボールを装置を稼働させて、作成及び3ヶ所ある肥料充填設備にダンボールを配っていた。ダンボールを配っている際、ダンボール作成装置のコンベアから、ダンボールが飛び出し続けているのを発見し、慌てて、装置へ向かった。その際、床が濡れていたため、足が滑り、バランスをとるため体勢が崩れ、右前腕を装置のコンベア部の角にぶつけた。	33	1～9
11	10～ 11	空調改修工事の屋上にて配管撤去後すぐに機器搬出段取り確認のため、エキスパンドメタルを歩行した時、床開口（直径約25cm）に右足が入り脛を挫創した。	63	100 ～ 299
11	7～8	派遣先において、3直勤務時間の最後に乾燥機の状態を確認するために、F3形成化室から乾燥室に手に何も持っていない状態で歩いて移動していたところ、足を滑らせてでん部から転倒し受傷した。	37	500 ～ 999
11	10～ 11	当社派遣就業先の特別養護老人施設浴室にて利用者の入浴介助中、用意が整ったので利用者を迎えに風呂場から脱衣所に歩いて移動中に排水口の辺りで足を滑らせ後ろに倒れるように転び咄嗟に頭部を守ろうとして、でん部と右手を強打し負傷した。	62	50～ 99
11	1～2	コンベアーに生地を流す作業が終了した為、オペレーターから生地を取り除くためのヘラを持って来るように依頼された。ラインが止まってしまう恐れがあったので急ぎ足で歩いていた為、コンベアーのコーナーの所で滑って転倒する。その際に床に設置してあるゴミ箱の縁に、左脇腹を打ちつけてしまう。	58	100 ～ 299
11	17～ 18	本社の敷地内において帰宅の際、ロッカーから出たところに物が置いてあり、躓き転倒した。その時に左腕を骨折してしまった。原因としては、暗くて足元が見えず、物があるのに気付けなかったことである。	47	100 ～ 299
11	11～ 12	物流構内作業中にて、資材を取りに行く際に仕切りの段差に気付かず、足を捻り、そのまま昼までは作業を続けたが、痛み始めた為、早退し、自宅で様子を見たが、痛みを感じた為、夜間に病院に行き、診察を行ったところ、右足関節外側	60	100 ～

		靱帯損傷、右膝関節捻挫により、6週間の加療を要すると診断されたものである。		299
11	14～ 15	駐車場でトラックの荷台で作業をし飛び降りたところ、着地の際にバランスを崩し左膝を痛めた。	45	30～ 49
11	9～ 10	大型ガスメーター組立職場にて、下ケースを両手で持ち上げ、作業台まで運搬する際、足元が確認しづらい状態であった為、元々置いてあった木製パレットに右足が躓き転倒した。その時に持っていた下ケースのエッジ部が、左手親指付根付近に当たり、裂傷を負った。	29	10～ 29
11	13～ 14	派遣先事業所の運輸倉庫作業所において、昼食後、作業場へ戻る際に雨で靴や地面が濡れていたため、リフト通行用の鉄板の上で足を滑らせてバランスを崩し、右膝をついて負傷した。	53	30～ 49
11	7～8	支店の現場にて制服に着替えている時、作業靴を半分履いた状態でズボンを穿こうとしたら、ズボンに靴が引っ掛かりバランスを崩して前のめりになって転倒した。その際に右足指が曲がり負傷した。仕事はせずそのまま帰宅後、病院で診療を受けた。	64	30～ 49
11	13～ 14	ピッキング作業中、作業場所を移動しようとしたところ、段差に躓いて転倒し、左肘を床に強打してしまった。	50	10～ 29
12	8・9	出勤時、工場敷地内駐車場に車を止め歩行中、凍結路面で右足を滑らせ転倒しそうになった。その際、右手で身体を支えた結果、右手首を負傷した。	59	300 ～ 499
12	9・10	派遣先の野菜の加工工程にて包装室内にて添加液を入れたビーカーを持って移動中、取り除き漏れた野菜片があったが、気付かず踏んでしまい滑って転倒し左膝を打った。	41	100 ～ 299
12	7・8	農産食品加工工場で、野菜ごみを捨てに行くため、外に出て工場に戻る際、入口前に敷いてあるステンレスの板に雪が積もったため（当日は雪が降っていた）、足を滑らせ尻餅をつきそうになり、右手を地面についたところ体重がかかり、手首を痛めた。	55	100 ～ 299

12	16~17	配送中に塩ビパイプを指定場所に降ろしている作業中、トラックに戻る際、他の資材にかぶせてあったビニールシートの重石につまずき、両手をアスファルトに強くつき、左手首骨にヒビ、右手首をはく離骨折した。	46	50~ 99
12	9~10	店舗で清掃作業中、店内に入ってきた子供が、吹き込んだ雪等で濡れていた床で滑って転んだ。派遣会員が転んだ子供をしゃがんで抱き起こした後、立ち上がろうとして派遣会員も足を滑らせ、尻もちをつく形で転倒した。転倒する際に受け身をとろうと、両手を床についた際に激しい痛みを感じたことから、手袋を外してみたところ、左手の出血がひどかったため、すぐに病院を受診し、左手裂傷、左手首骨折と診断された。	72	500 ~ 999
12	2~3	スポンジ仕込室入口扉前において、洗浄室で器具を洗い、充填室に器具の入った番重を押して運搬中、前のめりにゆっくり転倒し、両肘と両膝で四つん這いの格好で転倒した。長靴の靴底は滑り止めがなく、ツルツルした状態であった。	47	100 ~ 299
12	8~9	店内の惣菜の作業場から寿司の作業場に移動する際に滑って転び、右手首を負傷した。当時、床は清掃直後で濡れていて滑りやすい状況だった。	53	50~ 99
12	10~11	事務所内にて、書類ファイルを書庫へ戻す為自席から移動した所、床にあるコンセント突起物に左足が突っかかり転倒しないように踏ん張った所、以前に負傷して治療中の左足首を再度捻り負傷した。	33	300 ~ 499
12	5~6	派遣先の食堂厨房内において、開店準備をする際、厨房内を移動中、側溝の金網の上で左足が滑り、転ばないように力を入れたところ、左足首を捻り負傷した。	66	100 ~ 299
12	15~16	冷凍倉庫内で、休憩室へ移動するために歩いていたときに、ゆっくり歩かなくてはならない環境の中、移動を少し急いだことにより転倒し、その際に右手を強くついてしまったため、右手首を負傷した。	43	500 ~ 999
12	4~5	仕分作業中、鉄骨（高さ30cm）に右足を乗せて乗り越え、左足から空パレットに着地した際、パレットの天面の窪みに躓いて左足首を捻り、左肘と左手首、そのあと左側頭部を床にぶつけた。	46	50~ 99
		製造終了後の機械清掃中に、充填包装室内の架台上から備品・パーツを両手に		100

12	15~16	持ってステップを降り、床に足をついた際に右足がそのままスリップし、転倒した。転倒した際に、左足腓骨を負傷した。	45	~ 299
12	21~22	作業場構内に到着後、下車してセンター内へ向かう道中において、駐輪場付近を通過中、原付バイクのエンジンオイルのような液体が地面に漏れており、それで足を滑らせて尻もちをつき、救急車で搬送された。	39	~ 299
12	17~18	派遣先にて仕分け作業中に、空になった箱3箱を押していた際、手に持って運べばよかったのだが、床に置いて手で押していたところ、床の継ぎ目の段差に箱が引っかかり、前のめりに転倒し、左手首を負傷した。	66	~ 299
12	13~14	段差（7~8cm）がある場所で、家具の搬入・搬出作業中に、段差に気づかず、左足を段差にのせて歩こうとしたところ、右足も段差にのせなければと焦ってしまい、左足に全体重がのったため、左足を捻って骨折した。	24	1~9
12	23~24	センター内で、ベルトコンベアの上にブルーボックスをのせ、貴重品横の置き場へ移動しようとした際、ベルトコンベアを渡る板の上を歩行していたところ、地面との段差に気づかず左足を踏み外し、左足首と膝を捻った。	37	~ 299
12	16~17	業務で郵便局に郵便物を出しに行った際、道路の端を歩行中、張っていたロープに躓き転倒し、路面に左膝を強打して受傷し、救急搬送された。	51	~ 299
12	14~15	派遣先事業所の管理栄養部下膳室の食器洗浄機前で、食器消毒保管庫に食器の入ったかごを入れたあと、食器洗浄機から出てくる食器を取ろうと移動した際に、滑って尻もちをつき、背骨付近を圧迫骨折した。	66	30~ 49

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to：https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_11.html